

ふるさとを語る

日本の縮図と言われる兵庫県は、多彩な人材を輩出しています。今回は、タレントの黒田有彩さんにお話を伺いました。

タレント

くろ

黒田有彩さん

だ

あり

さ



〈プロフィール〉

1987年生まれ。神戸市出身。兵庫県立長田高校、お茶の水女子大学理学部物理学科卒業。中学生のとき作文コンクールで入賞しNASA訪問をきっかけに宇宙に魅了される。宇宙飛行士を目指しながらタレント活動を展開。2016年個人事務所兼宇宙の魅力伝えるコンテンツを企画する法人・株式会社アンタレスを設立、代表取締役就任。2017年から国立研究開発法人審議会JAXA部会臨時委員。2020年、YouTubeチャンネル「黒田有彩もうちゅー部」を開設。

■宇宙に興味を持つきっかけ

幼稚園の時、アニメの「セーラームーン」が大好きでした。登場人物のひとりの「セーラーマキユリー」のマキユリーってどういう意味なんだ



ろう、と。母が「水星よ」と言っ、宇宙の図鑑を見せてくれました。

自分が住んでいる地球は水星や金星と点のように並んでいて、片手で隠せしてしまうくらいの太陽は、ページに描ききれないほど大きな弧で描かれました。自分の感じていた世界とリアルとのギャップに、天と地がひっくり返るほどの衝撃を受けました。

■黒田家の夏の一大イベント

夏休みの「理科の自由研究」。神戸市内の小中学生の優秀な作品が青少年科学館（神戸市）に展示されるので、それを目指して毎年全力を尽くして

ました。努力のかがあって、野菜の再生力やダイオキシンの注目した作品など、9年間連続で出展していただきました。

■作文コンクール入賞、NASAを訪問

今、宇宙飛行士を目指しています。そのきっかけが中学2年生の科学に関する作文コンクールです。20世紀の科学は結果的に環境破壊に繋がってしまったこともあったけれど、21世紀は環境再生のために科学が使われるべきだという内容にしました。そのころ、火星のテラフォーミングが話題で、地球で

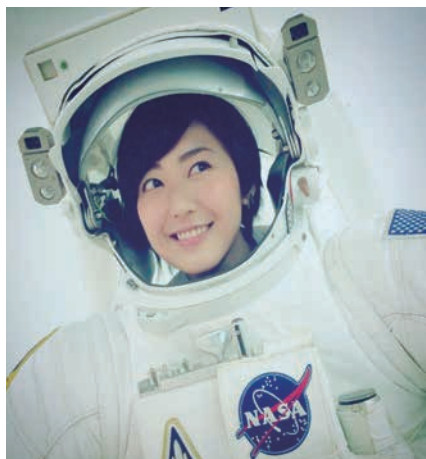
は温暖化の原因となる二酸化炭素が、火星では気温を上げて人が住む環境に近づけられる。自然が何万年もかけて作ってきた環境を、科学の力で短縮できる、これを正しい目で判断し、上手く使ってほしいと提案しました。見事入賞し、NASAやデイズニールドを訪問することができました。入賞できたのは、小学1年生から取り組んだ「なんでもノート」のおかげかもしれません。例えば「桃がなぜ美味しいか」が気になったとします。産地に注目すると「社会」になるし、仕組みに着目すると「理科」になる。制限を設けずいろいろと書き込んだことによって、自然と考える力がついたのだと思います。

■芸能界を目指すとした高校時代

高校に入学すると、同級生は皆、勉強以外でもピアノやスポーツなどに秀でており、自分の凡人さを痛感。自分のアイデンティティは何かと考え、ダンス部に入部、県大会入賞の常連校になるほど打ち込みました。

ゼロからテーマを考え、身体表現に昇華させ、練習し拍手をもらおう。この一連の流れができる環境に一生身を置きたいと思いました。この思いは、特に母には言えませんでした。母は、音楽番組を見ていると、NHK教育テレビに変える人でしたから。(笑)

高校2年生の三者面談の際、第一志望に「芸能界」と書きました。皆、当然進学と思っていたので、空気は最悪。先生に「まず大学行って何か武器を身につけてからでも遅くないのでは」と言っていたとき、その一言で進学のために頑張ろうと決意しました。



■上京して大学進学

高校では、「宇宙が好き」と言う友達から不思議な子と見られそうで、ずっと胸に秘めていました。お茶の水女子大学理学部物理学科に進学すると、学内では好きな宇宙の話を存分に共有できました。

4年生のときには、「アインシュタインの最後の宿題」と言われた重力波について研究しました。宇宙の起源に迫れると言われていたからです。

■NHK Eテレの番組MCに起用

大学入学直後から芸能活動を開始し、卒業後も芸能の道で生きて行こうと就職活動はしませんでした。オーディションに行く、「どうして物理学科を卒業したのに研究の道でなく芸能界にいるの?」と疑問を投げかけられることがよくありました。どちらも好きでやっていることなのに、どうして線引きされてしまうんだろうと思っていました。あるときNHK Eテレ「高校講座物理基礎」の番組MCの声がかかりました。苦手意識を持つ人が多い物理がなぜ面白いのかを伝えてほしいと、番組の企画から参加することで、自分にしか伝えられないことがあるのかもしれないと感じました。宇宙との架け橋となると実感した瞬間でした。

■明確に宇宙への目標を持つ

20代中頃、仕事で宇宙飛行士の山崎直子さんにお会いする機会がありました。学生のときに一度宇宙飛行士の試験に挑戦しましたが、自分には無理だとあきらめかけていたころでした。山崎さんは「伝える仕事をしている人が宇宙飛行士になることで多くの人が宇宙に興味を持つてくれると思うんです。だから諦めないで」と。その言葉に勇気をいただきました。

その後、種子島でロケットの打ち上げをレポートしたんです。打ち上げの瞬間、夜の空と海がこんなに明るくなるのかと驚き、遅れて地響きのような振動が体に伝わり魂が揺さぶられました。宇宙に関わる人ってやっぱりすごい、宇宙に行きたい、と心から思いました。

2015年に再スタートを決意し、所属事務所を離れるとすぐに放送大学で講師の聞き手の仕事をいただきました。



た。私の話し方、声質は、緊張感を和らげる作用があるようでして(笑)。
2017年からは、JAXAを審議する文部科学省の委員も務めさせていただいています。

■宇宙飛行士の夢に向かって

今の目標は、13年ぶりに募集がある宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙飛行士の試験に100%の自分でも挑むことです。宇宙飛行士になったら、月でお風呂を作りたいです。荒唐無稽に聞こえるかもしれませんが、いよいよ始まる月面活動において、月面では、水の確保、お湯をつくるエネルギーの確保、降り注ぐ放射線から身を守るなど、全てが相当な技術の集結であり、とても大きな挑戦です。

■県人会の皆さまへ

これまでの11名のJAXA宇宙飛行士の中でまだ兵庫県出身の方はいらっしゃいません。みなさんに宇宙を身近に感じていただけるように、飛行士試験を精一杯頑張りたいと思います。応援していただくと嬉しいですよ!

黒田有彩さんからいただいたサイン入りの書籍とCDを2名の方にプレゼントします。詳しくは47ページをご覧ください。

兵庫県
広報戦略課
より

ふ

る

さ

話

の

題

と



●防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2022

令和4年秋、内閣府（防災担当）等が主催する、国内最大級の防災イベント「防災推進国民大会」（通称：ぼうさいこくたい）が兵庫県で開催します。

ぼうさいこくたいは、国民全体で防災意識を向上させることを目的に、平成28年から開催しています。来年度で7回目を迎え、近畿圏での開催は初めてになります。

◆開催時期

令和4年10月22日（土）・23日（日）

◆開催場所

阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、HAT神戸エリア
（オンライン併用のハイブリッド形式で開催予定）

◆内容

産学官、NPO・市民団体等が日頃から行っている防災活動を発表します。



ぼうさいこくたいのロゴ「Bちゃん」

●第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会～御食国ひょうご～

瀬戸内海を中心に栄養塩の減少による水産資源への影響が深刻となる中、「豊かな海」の創出に取り組む本県の姿を全国に発信し、その取り組みの輪を広げ水産業の一層の振興・発展を図るために、第41回全国豊かな海づくり大会を開催します。

兵庫県では、第2回大会を昭和57年7月に旧城崎郡香住町（現美方郡香美町）で開催して以来、全国で初めて2度目の開催となります。

◆開催日

令和4年11月12日（土）、13日（日）

◆開催場所

〔式典行事〕明石市立市民会館

〔海上歓迎〕明石港ベランダ護岸

〔関連行事〕明石公園ほか播磨、但馬、淡路の3ヵ所

◆大会テーマ

「広げよう あお 碧く豊かな 海づくり」

◆行事内容

〔式典行事〕

豊かな海づくり活動に功績のあった団体・個人の表彰など

〔海上歓迎・放流行事〕

地元漁業者による漁船団パレードや、マダイ、ヒラメの稚魚の放流など



兵庫大会キャラクターはばタン

令和4年トピックス

●兵庫デスティネーションキャンペーン（令和5年夏）のプレ実施

令和4年から5年にかけて、J Rと県がタイアップし、国内最大級の観光宣伝事業「デスティネーションキャンペーン（以下、DC）」を実施します。県内各地の観光資源の掘り起こしや磨き上げ、集中的な旅行商品の造成・プロモーションを展開し、全国からの誘客促進で地域を盛り上げます。

テーマは、兵庫五国に根ざした食・文化・産業を活かした「テロワールツーリズム」。2025年大阪・関西万博でのフィールドパビリオン展開も見据えつつ、農林水産業や地場産業の生産地の魅力を発信し、新たな兵庫ブランド創出と持続可能な観光地域づくりを進めます。

□開催時期

令和4年～令和5年（本DCは令和5年7月～9月）

□テーマ

「私の感動、その先へ。兵庫テロワール旅」

※テロワール (terroir)

仏語「土地 (terre)」から派生した、
生産物の土壌、地勢、気候などを表わす言葉



キャンペーン推進協議会設立総会（12/17）
兵庫デスティネーションキャンペーン推進協議会
（会長：知事、副会長：ひょうご観光本部長、
JR西日本支社長（全39団体））

●県立はりま姫路総合医療センターのオープン

播磨姫路圏域において、安定的かつ継続的に高度で良質な医療を提供するため、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編し、同圏域における中核的な総合病院として「はりま姫路総合医療センター」を令和4年5月1日（予定）に開院。

□施設の特徴

(1) 高度専門・急性期医療の提供

- ・両病院の循環器疾患医療、救命救急センター機能等、専門性の高い医療を継承・発展させる。
- ・高度専門・急性期医療を中心とした政策医療の播磨姫路圏域における中核的な医療機関を目指す。
- ・圏域の公立病院、民間病院等と連携・協力し、地域医療の中心的な役割を果たす。

(2) 救急医療の充実

- ・総合的な診療機能を活かし、成人を中心とした幅広い疾患に対する救急医療の充実を図る。

(3) 質の高い診療・教育・研究の実施

- ・質の高い診療・教育・研究を行い、医師・医療従事者が集まるリーディングホスピタルを目指す。
- ・診療・教育・研究活動の成果を広く公開・還元して、疾病予防の啓発活動や予防医学の進展に貢献する。



県立はりま姫路総合医療センター完成予想図

●県立大学「先端医療工学研究所（仮称）」のオープン

県立はりま姫路総合医療センターの開設にあわせ、県立大学が長年にわたり積み重ねてきた医工学連携の実績を活かし、医療関連機器の研究開発やイノベーションなどに貢献する附置研究所として「先端医療工学研究所」を令和4年4月（予定）に開設。

□施設の特徴

(1) オープン大学院の開設

- ・大学が有する工学、理学、看護学、環境人間学、情報科学などの分野の知見・技術シーズを活かし、先端医療工学研究所をオープン大学院として位置付け、医療関連機器、デジタルヘルス分野等における人材を育成する。

(2) 認定看護管理者養成コースの西サテライトの設置

- ・看護師などの医療関係者のリカレント教育にも積極的に取り組む。



教育研修棟完成予想図

8月	1日	●齋藤元彦 第53代兵庫県知事が就任
	2日	○まん延防止等重点措置③〔15市町〕(～8/15)
	16日	○まん延防止等重点措置③の区域追加〔36市町〕(～8/19) ●東京2020パラリンピック兵庫県聖火フェスティバル
	18日	○「新型コロナ第5波への対応(対策パッケージ)」の発表
	20日	○緊急事態措置④(～9/12) ●ひょうご小野産業団地第2期分譲の公募開始
	31日	●瀬戸内法の改正による栄養塩類管理計画の策定に着手
9月	6日	●エメックス13のオンライン開催
	7日	●ケアラー支援に関する検討委員会
	8日	○「新型コロナに対する医療提供体制の強化」の発表
	13日	○緊急事態措置④の延長(～9/30)
	16日	○「新型コロナウイルス感染症への対策強化に向けた組織体制の拡充等」の発表
	18日	●花みどりフェア(秋期)(～10/31)
10月	1日	○県独自の措置(～10/21) ●公民連携プラットフォームの設置 ●UNOPSと連携したSDGsチャレンジ事業の開始
	13日	●ものづくり大学校ものづくり体験館の体験学習 人数10万人突破
	14日	●ふるさと応援!ひょうごを旅しようキャンペーンの開始
	17日	●「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会～御食国ひょうご～」1年前プレイベント
	20日	○「新型コロナ第6波への備え 医療提供体制の強化」の発表
	27日	●行政手続オンライン化推進方策の策定
	29日	●淡路市夢舞台サステナブル・パーク土地利用事業者の公募開始
11月	2日	●女性のためのSNS相談の開設
	3日	●県立兵庫津ミュージアム・初代県庁館の開館
	5日	●第1回兵庫県土地利用推進検討会
	9日	●第1回水上オートバイによる危険行為等の対策検討会議
	10日	●大阪湾海上交通実証実験
	16日	●ひょうご障害者ワークフォーラム2021
	17日	●高病原性鳥インフルエンザの発生
	24日	●外資系企業と学生との交流会「ひょうご・神戸グローバルキャリアフォーラム」
	25日	○「新型コロナウイルス感染症『次なる波』への備え」の発表
12月	4日	●山陰近畿自動車道(浜坂道路II期)トンネル掘削工事の着手
	14日	●第1回ワーケーション知事室(北播磨)(～12/15)
	16日	●県政改革方針(仮称)『行財政運営方針の見直し(一次案)』のとりまとめ、公表
	17日	●兵庫デスティネーションキャンペーン推進協議会 設立総会
	25日	●島田勲生誕120年記念・兵庫・沖縄友愛提携50周年記念事業

(○:新型コロナウイルス感染症対策)

10/14 ふるさと応援!ひょうごを旅しよう キャンペーンの開始

長引くコロナ禍の影響により大きく需要の落ち込んだ県内宿泊・旅行業を支援するため、①県民を対象とした県内旅行・宿泊代金の割引支援と②旅行期間中に使用可能なクーポン券を配布する「ふるさと応援!ひょうごを旅しようキャンペーン」を開始。



10/17 「第41回全国豊かな海づくり大会 兵庫大会～御食国ひょうご～」1年前 プレイベント

「豊かな海」の創出に取り組む本県の姿、ひょうごの豊かで多彩な魅力を全国に発信する第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会が令和4年11月に開催されるにあたり、開催地となる明石市において本番を想定した1年前プレイベントを開催。



11/10 大阪湾海上交通実証実験

大阪・関西万博の開催などによる国内外からの誘客拡大を見据え、大阪湾ベイエリアの新たな発展につなげるため、神戸・淡路・大阪間で船舶運航の実証実験を行い、海上交通や新たなスタイルのMICE(クルージングMICE)の可能性を検証。



12/14 第1回ワーケーション知事室 (北播磨)(～12/15)

知事が県内各地に滞在し、地域と交流しながら働く「ワーケーション知事室」、働き方改革やコロナ禍を背景に注目される新しい取り組み。農業、商工業関係者との意見交換や、地場産業の現場を体験。



12/17 兵庫デスティネーションキャン ペーン推進協議会設立総会

県、JRをはじめとした39団体が参加し、兵庫デスティネーションキャンペーン推進協議会の設立総会が行われ、キャッチコピー「私の感動、その先へ。兵庫テロワール旅」とロゴが初披露。




令和3年(2021年)の県政ダイジェスト(主な出来事)

1月	14日 ○緊急事態措置②(～2/7) 17日 ●ひょうご安全の日のつどい
2月	8日 ○緊急事態措置②の延長(～2/28) 11日 ●ひょうご五国博覧会オンライン 19日 ●「丹波篠山の黒大豆栽培」、「南あわじの水稻・たまねぎ・畜産の生産循環システム」が日本農業遺産に認定
3月	4日 ●ひょうご多文化共生社会推進指針の改定 20日 ●花みどりフェア(春期)の開催(～5/30) 26日 ●燃料電池バスの西日本初の営業開始と水素ステーションの設置 31日 ●ひょうご公共交通10カ年計画の改定
4月	1日 ●国公立大学で初めて本格的な演劇を学べる「芸術文化観光専門職大学」の開学 ●播磨科学公園都市バスターミナルの供用開始 ●県議会 会議のペーパーレス化 2日 ●新会派の結成(自民党兵庫) 5日 ○まん延防止等重点措置①(～4/24) 25日 ○緊急事態措置③(～5/11) 27日 ●淡路島の恐竜化石を新属新種「ヤマトサウルス・イザナギイ」と命名 ●名神湾岸連絡線の事業着手 ●山陰近畿自動車道(竹野道路)の事業着手
5月	12日 ○緊急事態措置③の延長(～5/31) 24日 ●ひょうご情報公園都市次期工区の産業団地整備に関する基本合意の締結
6月	1日 ○緊急事態措置③の延長(～6/20) 21日 ○まん延防止等重点措置②(～7/11) 26日 ●但馬牛博物館「農業遺産体験館」のオープン 28日 ●神戸三田国際公園都市の地域振興に係る連携協力協定の締結 30日 ●人と防災未来センター東館3階「BOSAIサイエンスフィールド」のリニューアルオープン ●シカ捕獲数が46,186頭で目標達成
7月	12日 ○県独自の措置(～8/1) 19日 ●災害対応の実践的な手引書「活かす」の作成 23日 ●東京2020オリンピック競技大会において兵庫県ゆかりの選手が活躍(～8/8) 31日 ●井戸敏三前知事が5期20年の任期満了し退任

PICK UP トピックス

3/20 花みどりフェア(春期)の開催(～5/30)

淡路花博から20周年の記念イベントとして、「花みどりフェア」を2021年の春と秋に開催。「みなとつながる『花 緑 食の島』淡路」をテーマに、花咲き誇る春と実りの秋の淡路島の魅力を発信し、累計358万人もの人が来場。




4/1 芸術文化観光専門職大学の開学

芸術文化観光専門職大学は、国公立大学で初めて本格的な演劇を学べる4年制大学として開学。芸術文化と観光の二つの視点を生かし、地域に新たな活力を創出する専門職業人を育成。4月5日(月)には新入生84人が入学式に参加。



4/27 淡路島の恐竜化石を新属新種「ヤマトサウルス・イザナギイ」と命名


県立人と自然の博物館等の研究チームは、洲本市の約7,200万年前の地層から発見されていた恐竜化石の研究を行い、この恐竜化石が原始的なハドロサウルス科であることを明らかにし、新属新種として「ヤマトサウルス・イザナギイ」と命名。



復元画：服部雅人


6/26 但馬牛博物館「農業遺産体験館」のオープン

「兵庫美地方地域の但馬牛システム」の日本農業遺産認定を受け、新たに「農業遺産体験館」を但馬牛博物館(但馬牧場公園内)にオープン。但馬牛・神戸ビーフを広く国内外に発信し、更なる需要拡大と生産拡大を推進。



6/30 人と防災未来センター「BOSAIサイエンスフィールド」のリニューアルオープン

幅広い世代が、南海トラフ地震等の巨大災害や風水害に備える力、最新の防災知識を楽しみながら学べるよう、人と防災未来センター東館3階に「BOSAIサイエンスフィールド」をリニューアルオープン。



神戸市

避難行動を楽しく学べる

マルチエンディング
選択型動画を公開



超巨大台風が目前に迫るなか、あなたはどんな選択をしますか？視聴者が登場人物の行動を選択すると、イベントが発生して物語が進行します。

全115通りのシナリオを用意。視聴者の選択次第では登場人物に生命の危険が及びます。この動画で避難行動のシミュレーションを行い、風水害対策をあらためて考えてみませんか。



▲選択型動画はこちら

神戸市広報戦略部
TEL 078-322-0126
FAX 078-322-6007

昨夏は大雨・洪水・土砂災害

が全国的に発生し、警報や避難指示が連日発令されるなど、風水害への関心が高まりました。それを受けて神戸市は、風水害対策の知識や避難行動を楽しく学べる「マルチエンディング・ムービー」を公開。

芦屋市

芦屋の学校給食が映画になります

「映画」あしやのきゅうしよく



企画部政策推進課
TEL 0797-38-2127
FAX 0797-31-4841

芦屋市の学校給食がおいしいのはなぜ？芦屋市では、「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」作りたてを味わってもらえる自校式給食に加え、各校に専属の栄養士がおり、各校独自のオリジナルメニューを展開しています。平成29年にはレシピ集「芦屋の給食おしゃれな街のおいしい献立」として発売したところ、すぐに重版になるほどの人気を呼び、このたび芦屋市制施行80周年記念事業として映画化され、令和4年2月4日から関西を皮切りに全国で上映されることになりました。

「食」は人と人を繋ぎ、絆を結ぶ。「食」を通して「絆」を描くヒューマンドラマです。ぜひ、劇場でご覧ください。



▲あしやのきゅうしよく
公式サイトはこちら

川西市

今秋開院

「川西市立総合医療センター」



市立川西病院は、協立病院と統合し、令和4年9月に市の中心部であるキセラ川西地内に「川西市立総合医療センター」として生まれ変わります。同センターは、28診療科（予定）、405病床（全室個室）を備え、今までと同様に急性期医療を担うとともに、高度急性期医療についても一定の役割を担い、地域の中核病院として市民にとって安心・信頼できる医療を提供します。

同センター事業の概要やイメージ動画を、2次元コード先の市公式YouTubeチャンネルで配信しています。ぜひご覧ください。



▲川西市ホームページ ▲イメージ動画

総合政策部 病院改革推進課
TEL 072-740-1136
FAX 072-740-1315



明石市

ぜひ味わってほしい！

今が旬の明石ノリ

全国有数の収穫量を誇る「明石ノリ」の生産が最盛期を迎えています。

明石海峡の速い潮の流れや適度な水温など、養殖に最適な条件下で育つ明石ノリは、味はもちろん、ツヤと香りの良さから全国のファンに親しまれています。

「もぐり船」と呼ばれる刈り取り船がノリ網の下に潜り込み、ノリを収穫する光景は明石の冬の風物詩。この時期、たくさんのもぐり船が早朝から明石海峡を行き交います。明石の豊かな海で、漁師が手塩にかけて育てた旬の明石ノリ。この機会にぜひ味わってみませんか。



▲味・ツヤ・香りの良さが自慢



▲ノリの刈り取り動画公開中



▲ノリを刈り取るもぐり船

図 (一社)明石観光協会
TEL 078-918-5080
FAX 078-911-0579

西脇市

新庁舎・市民交流施設

オリナスがオープン



ト、市街地が一望できるテラス、カフェなどがあり、多様な用途にお使いいただけます。

また、西脇市は、「健幸なまちづくり」(健幸Ⅱ「健康で幸せ」)をまちづくりの基本に据えて政策を推し進めており、このオリナスを「健幸交流拠点」と位置付け、健幸運動教室を実施。好評を得るなど、「健幸都市・にいわき」の実現に向け、様々な取り組みを進めています。



▲健幸運動教室を実施する「うごくスタジオ2」

図 都市経営部庁舎等総合調整担当
TEL 0795-22-3111
FAX 0795-22-1014

令和3年5月、市庁舎・市民交流施設・健康福祉連携施設からなる複合施設「オリナス」がオープンしました。施設内には、約600席の移動式観覧席を有する多機能ホールや、国際大会の仕様に準拠したスカッシュコート

三木市

春高・春中ゴルフを開催！

「ゴルフをするなら三木。三木といえばゴルフ。」

三木市には、初心者から上級者向けのコースなど25カ所のゴルフ場があり、その数は西日本一です。

毎年3月には全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会(春高・春中ゴルフ)が開催され、全国の子選を勝ち抜いた中高生400人以上が日本一をかけて競い合います。

今年も、3月23日から25日に予定されており、今後も三木市で恒久的に開催することで、「ジュニアゴルフファア」の「聖地化」をめざしていきます。

詳しくは三木市ホームページを確認してください。



▲力を発揮するジュニアゴルフファア



▲三木市ホームページ

図 産業振興部
ゴルフのまち推進課
TEL 0794-89-2401
FAX 0794-88-8708

加西市

平和学習の場

加西から全国へ

加西市には第二次

世界大戦時に造られた鶉野飛行場跡があり、周辺には防空壕など多くの戦争遺跡が残っています。昨年度から平和学習の場として、紫電改の実物大模型の展示や巨大防空壕内ではシ

アター上映も行っており、全国から91校、約6800人の修学旅行生が訪れています。

今年4月にはミュージアム「soraかさい」がオープンし、紫電改に続き、九七式艦上攻撃機の実物大模型の展示、当時を知る戦争体験者の証言も映像で見ることが出来ます。

平和の尊さを加西市から全国へ発信していきます。ぜひ加西市へお越しください。



▲展示される紫電改・九七式艦上攻撃機



▲加西市鶉野未来課ホームページ

図 鶉野未来課
TEL 0790-42-8757
FAX 0790-43-1800



▲soraかさい外観

播磨町

令和4年度に町制施行

60周年を迎えます！



町制施行60周年
Harima-town 60th Anniversary

播磨町は令和4年4月に町制施行60周年を迎えます。

そこで、60周年を記念するロゴマークを募集したところ、全国各地から播磨町愛に溢れた多種多様な作品を応募いただきました。

募集テーマは「播磨町」「町制60周年」「協働のまちづくり」。採用されたロゴは「播磨町」をイメージできる大中遺跡の復元住居や赤灯台のモチーフ、また「60」の中に顔を描くことで「協働」する人々を表現し、親しみやすい丸くやさしいデザインです。

これから様々な場所やイベントでこのロゴと共に60周年を盛り上げていきますので、見かけられた際は播磨町を思い出してみてください。

図 企画グループ
TEL 079-435-0356
FAX 079-435-0609

相生市

相生ペーロン伝来

100周年！

大正11年(1922年)、

長崎出身の造船所従業員により相生に伝わったペーロン競漕。総員32名の力を合わせ水面を駆けその姿は、ペーロン(白龍)の語源ともなった龍そのもの。今年はいペーロンが相生に伝来して100周年の節目の年となります。新幹線コンコースや道の駅には過去のペーロン艇を展示しており、ペーロン艇12艇を保管する「相生ペーロン海館」は隠れたインスタ映えスポットになっています。施設案内の標識がペーロン艇の形になっている場所があり、市内全域でペーロン文化に触れることができます。



▲ペーロン競漕



▲相生ペーロン海館

図 企画総務部企画広報課秘書広報係
TEL 0791-23-7121
FAX 0791-22-6439



宍粟市

民間エキスパートを

営業部長に任命

サテライトオフィスの誘致活動や森林セラピーの営業など、宍粟市のPRを担う事業者を、株式会社とゆめ（東京都）に決定し、同社取締役の浅原武志さんを営業部長に任命しました。

宍粟市は、兵庫県で初めて森林セラピー基地に認定されるなど、豊かな森林と、そして悠久の歴史と文化のもとで発展してきました。森林資源を活用したアクティビティは豊富にあるものの、知名度という部分ではまだまだこれからという現状です。

その豊かなフィールドを、企業の健康経営や社員研修、ワーケーションなどに活用していただくための多彩なプログラムを用意し、企業への営業活動を行います。



▲ふるさと納税はこちら



▲宍粟市営業部はこちら

市 市長公室秘書政策課
TEL 0790-63-3139
FAX 0790-63-3060

福崎町

福崎町文珠荘

リニューアルオープン



福崎町文珠荘は、コロナ禍の影響により長らく休館していましたが、新たな指定管理者のもとで令和4年1月6日にリニューアルしました。カフェ・ランチスペースやグ

ランピング・パーベキユーススペースを新たに設け、浴室脱衣室やトイレを改修するなど、さらにみなさまに利用していただきやすい施設になりました。

3月末頃からは、クラウドファンディング等により支援いただいた費用でライトアップも企画しており、福崎町の新たな見どころとしてPRしていきます。福崎町文珠荘は装いも新たに、みなさまのお越しをお待ちしています。



健康福祉課
TEL 0790-22-0560(代)
FAX 0790-22-5980

佐用町

官民連携で佐用町の

新たな観光拠点が生



▲NIPPONIA平福宿場町（旧木村邸）

歴史的な街並みを残す平福。ここにある古民家を一棟貸しの宿「NIPPON I A平福宿場町」、レストラン「KUMOTSUKI」・和菓子店「重次郎 平福茶房」の複合施設としてリノベーションし、新たな観光スポットを誕生させました。

佐用町と株式会社かねが官民連携で改修・整備し、当時の面影を残したまま、宿はダイニングキッチンやヒノキ風呂などを新たに導入。レストラン・和菓子店では地元産の食材をふんだんに使っています。

また、周辺に観光駐車場や国指定史跡「利神城跡」を望めるテラス、芝生公園を整備し、施設全体で佐用の風土、歴史を感じることができ



▲レストラン「KUMOTSUKI」・和菓子店「重次郎 平福茶房」(旧木村酒造場)

企画防災課 まちづくり企画室
TEL 0790-82-0664
FAX 0790-82-0492

朝来市

元禄から続く酒造り

切碇琢磨する2軒の酒蔵

県人会イベントでご存じの方もおられると思いますが(35ページ参照)、朝来市には元禄時代創業の歴史ある酒蔵が2つあります。1つは銘酒「竹泉」の蔵元「田治米合名会社」、もう一つは銘酒「但馬」の蔵元「此の友酒造株式会社」です。それぞれの蔵元では歴史を重んじながらも、現代に合う酒造りを日々研究されています。この酒蔵は100mもないところに軒を構えており、切碇琢磨しながら酒造りに励んでおられます。元々、2つの酒蔵はお酒に適した水を求めてこの朝来市の地に辿り着き、日本酒醸造最盛期にはこの小さな宿場町に7つの酒蔵・酒造組合があったことから、その水の評判の高さがかがえます。販売コーナーもそれぞれにございますので、ぜひ朝来市へお越しください。



図 観光交流課
TEL 079-672-4003
FAX 079-672-3220

南あわじ市

潮風と太陽が育む

淡路島の恵みをお取り寄せ!



南あわじ市では、この度、特産物を生産者・加工者から直送で全国の皆様へお届けする通販サイト【南あわじマルシェ】を開設しました。今や全国ブランドとなった「淡路島たまねぎ」や、幻の牛肉と言われる「淡路ビーフ」、鳴門海峡が育む海の幸など、自慢の特産物を多数掲載しております。この機会に、島の味覚をお取り寄せしてみませんか？

また、市が運営する「ふるさと納税特設サイト」では、サイト限定の返礼品も掲載しています。ぜひ、一度サイトをご覧ください。

MINAMIWAJIMA
MARCHE
南あわじマルシェ

特産物通販サイト「南あわじマルシェ」
<https://marche-373awaji.jp>

南あわじ市
ふるさと納税
- 特設サイト -

ふるさと納税特設サイト
<https://furusato-373awaji.jp>

図 総務企画部 ふるさと創生課
TEL 0799-43-5205
FAX 0799-43-5305

行政 が真剣にマッチング!
リーズナブルで安心・安全です!

恋活婚活



- 兵庫県が婚活をサポート
- リーズナブルで安心・安全
※費用5,000円/年(20代は3,000円)
- スマホでお相手探し
※20歳以上の独身の方

詳しくはコチラ!



検索

ひょうご出会い

ひょうご出会いサポート東京センター

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館13階 兵庫県東京事務所内

TEL 03-6262-3035 FAX 03-6262-3036

火・水・金・土/9:00~17:15

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝える災害ミュージアム

2021年 リニューアルオープン

人と防災未来センター 東館3階

BOSAI サイエンスフィールド

令和4年

10/22 土・23 日

HAT神戸エリアで
国内最大級の防災イベント

第7回

防災推進国民大会

ぼうさいこくたい 開催決定!



ディザスターウォール

地球上で起こる自然現象と人々の生活が交わることで自然災害が発生することを学びます。



ハザードVRポート

地震や津波、風水害の現場を360° 広がるVR映像と音声で体験します。



ディザスターウォール

ミッションルーム

リアルに再現された住居やコンビニで、自ら状況を判断して避難行動につなげるためのトレーニングを行います。

自然災害時に、
自分で考え判断し、
行動できる力を。



ジオ&スカイホール

自然現象のメカニズムを学び、それが自然災害とどのように結びつくのかを体験します。

ジオ&スカイホール

ハザードVRポート

ミッションルームA

ミッションルームB



クエスチョンキューブ

災害時の様々な場面を体験できる映像空間でクイズに答え、命を守る最善の行動力を身につけます。

ディスカバリーラウンジ

クエスチョンキューブ



- 施設名 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
- 住所 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
- 電話番号 078-262-5050 (観覧案内)
- 開館時間 9:30~17:30 (入館は16:30まで)、ただし7~9月は9:30~18:00 (入館は17:00まで)
金・土曜日は通年9:30~19:00 (入館は18:00まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌平日)、12月31日~1月1日
- 入館料金 <共通(西館+東館)>大人600円、大学生450円、高校生以下無料
<東館のみ>大人300円、大学生200円、高校生以下無料
※毎月17日(休館日の場合は翌18日)は入館無料
- アクセス <鉄道> 阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約10分
JR「灘」駅から徒歩約12分
<車> 阪神高速道路神戸線「摩耶」ランプから約4分、「生田川」ランプから約8分

詳しくはホームページへ <https://www.dri.ne.jp>

人と防災未来センター 検索

